



お江戸舟遊び瓦版 1123号

水彩都市江東 こころ美しい日本の再生 安全・安心まちづくり

お江戸観光エコシティー・お江戸舟遊びの会 江東区千田 13-10

戦後 80 年こうとう市民プロジェクト **GAMA 月桃の花** 上映会

日時：9 月 23 日 所：深川江戸資料館

主催：戦後 80 年こうとう市民プロジェクト

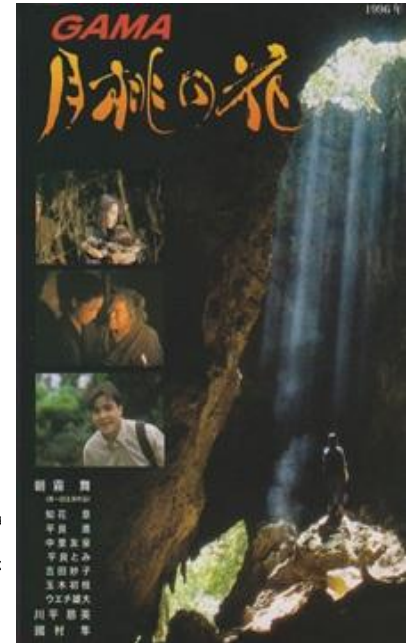
はじめに

戦後 50 年の 1995 年 6 月 23 日慰霊の日。

沖縄本島南部 摩文仁の平和祈念公園の“平和の礎”には沖縄戦で亡くなられた **23 万余の人々の名前**が刻印され立ち並んでいる。

平和の礎建設の中、沖縄の文化人、演劇人、映画人、政財界人等から沖縄の心を映像化し、戦争を伝えたいと作られた映画だ。

GAMA は「鍾乳洞」を意味し、沖縄戦のさなかには、県民の抵抗の**最後の砦**として機能し、軍人による**強奪や虐殺**の場にもなり、米軍の標的にもなった。人々の尊い命を守るとともに、戦火が止み喜屋武半島のガマからは 8 万人の避難民が這い出てきた。生き残った人々が戦火の中で見かけた月桃は……祈りの花でもあるのだ。



沖縄戦とは

太平洋戦争も**末期**、1945 年 3 月 26 日**米軍は慶良間諸島**に、続いて、4 月 1 日沖縄本島の中上地区に上陸した。米軍は**本島を南北に分断**するとともに、**首里に司令部**を置いていた**沖縄方面守備隊**に対し海陸空から物量にまかせて**激しい攻撃**を加えた。守備隊も果敢に戦ったが抗しきれず、5 月 28 日、**軍司令部**を首里から南部の**摩文仁に移した**。**住民も南へ南へと避難**した。「鉄の暴風」と言われる激戦はさらに続き、守備隊はついに最南端まで追いつめられ、6 月 23 日最高司令官**牛島中将と長勇参謀長**らが司令部壕内で**自決**し、この日をもって沖縄戦の組織的な闘いは終ったとされる。

自決に先立つ 6 月 18 日、牛島司令官は全将兵に「**各部隊ハ各局地ニオケル生存者ノ上級者コレヲ指揮シ最後マデ敢闘シ悠久ノ大義ニ生ベシ**」との命令を発した。これにより司令官の自決後も、各地で**ゲリラ的な戦闘**があり、米兵の徹底した「**掃討作戦**」が続いた。沖縄戦は 8 月 15 日の敗戦以降も部分的には続き、戦闘がいつ終わったかは現在でも不明。日本政府・参謀本部の無責任さ…

日本領土内**唯一の地上戦**、一日でも長く**米兵を沖縄に釘付け**し、日本本土防衛体制を固めるための「**捨身作戦**」で、沖縄戦を通して「**琉球差別**」「**皇民化政策**」という問題に突き当たる。

ストーリー

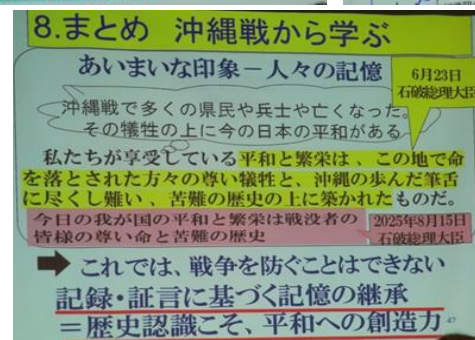
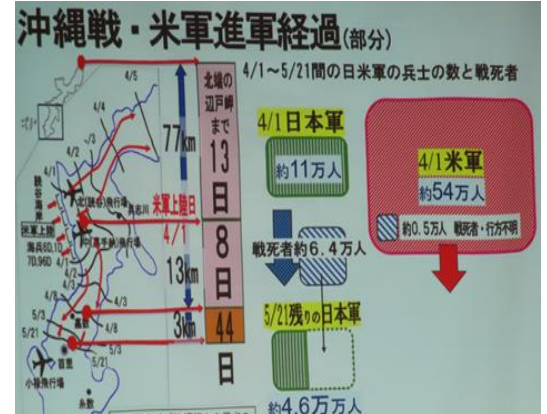
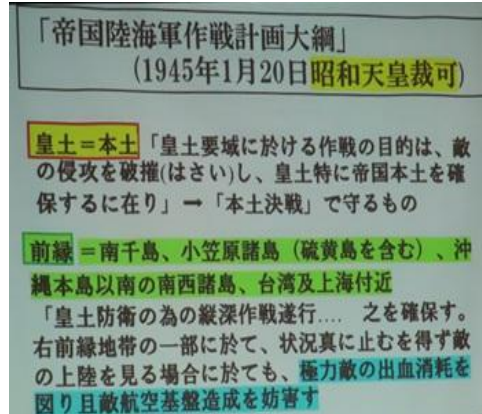
主人公**宮里房** (72) は海辺の村で琉舞を教え、幼稚園を経営している現役の園長で、地獄の現場を体験した一人。十数名の家族親族を次々に奪われ、最後に追い詰められた**洞窟から母と娘だけ**が奇跡的に生還した。敵は米兵だけでなく、兵隊と避難民が雑居した中で惨劇が繰り広げられた。

これまで真相を誰にも**語らなかつたが**、怖ろしい秘密が房の胸の中には畳み込まれている……。

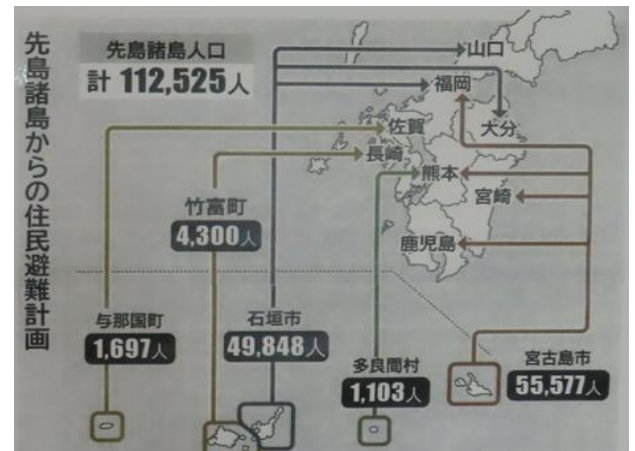
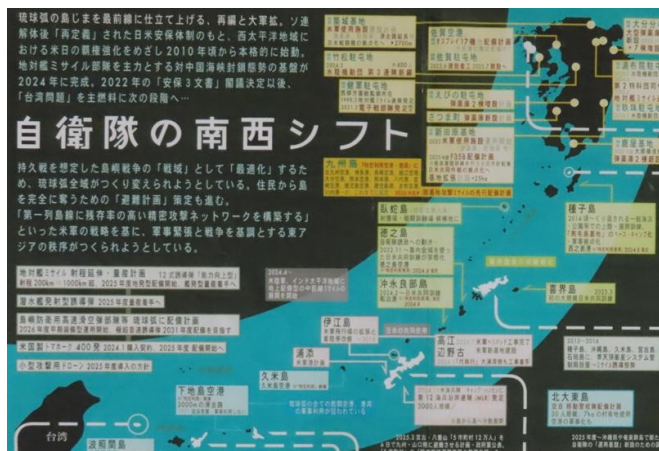


解説「安里要江さんの戦争体験を語り継ぐ」：牛島貞満（牛島満司令官の孫・元小学校教諭）

- 1953 年生まれ、1994 年から祖父について調べ始め、「牛島満と沖縄戦」をテーマに授業を行ってきた。さらに基地問題、墜落事故、米軍資料などの調査を行っている。
- 安里要江さんは、当時 24 歳 6 か月と 4 歳の子供を抱え、日本軍が沖縄を守りに来たと思った。
- 帝国陸海軍作戦計画大綱（1945 年）による、皇土を確保し、本土決戦で守るためには、沖縄本島・南西諸島を前線として、敵の出血消耗を図り・敵航空基盤造成を妨害すべしと謳っている。
- 11 万人の日本軍に対し 54 万人の米軍が侵攻し、北部は 13 日で制圧された。南部は侵攻するも日本軍の抗戦で 52 日掛かっている。日本軍は、首里司令部から撤退・南下し、宮里さんら住民も南下し、南部のガマに兵士とともに潜んだ。6/6 に安里さんの兄嫁が、6/8 に母が、6/9・10 に義父母が、6/16 に娘が亡くなった。今では、その地摩文仁に沖縄県平和の礎が建立されている。



パネル展 「南西諸島の自衛隊配備」「先島諸島からの住民避難計画」



政府は台湾有事として、自衛隊の南西シフトを進め、万一の場合のために先島諸島からの住民避難計画を作り、九州や山口県への避難計画を作っているが、船などの移動手段は心もとない。

所感：戦後 80 年こうとう市民プロジェクトで“ガマ月桃の花”を観ることができた。あまりにも厳しい内容で、決して戦争はしてはならないと痛感させられ、最近の流れも学んだ。(文責 中瀬)